

大江志乃夫 （おほえ） 史學者。昭和二年二月八日大分縣生れ（一九二一）。  
昭和二十八年名古屋大學經濟學部卒。日本近代史專攻。東京教育大學  
教授、茨城大學教授歴任。

著書 『藩制改革の研究』（合著・堀江英一編、昭和二十年六月）『二十日  
御茶の水書房』、『明治国家成立の経済基盤』（合著・津田秀夫編、  
昭和四十一年二月）『二十日御茶の水書房』『明治国家形成過程の研究』（  
『日本の産業革命』（昭和四十二年四月）『岩波書店』『日本歴史叢  
書』（、『白露戦争の軍事史的研究』（昭和五十一年十一月）『十六日  
岩波書店』、『戒嚴令』（昭和五十二年一月）『二十日岩波書店』『岩波新  
書』（、『徴兵制』（昭和五十六年一月）『二十日岩波書店』『岩波新書』（、  
『靖国神社』（昭和五十九年二月）『二十日岩波書店』『岩波新書』（、  
『日本の参謀本部』（昭和六十年五月）『二十五日中公論社』『中公新  
書』（、『兵士たちの白露戦争』『五〇〇通の軍事郵便便り』（昭和六  
十二年二月）『二十日朝日新聞社』『朝日選書』（）等。

